

こんな活動です

# 防災に強い学校づくりから地域と連携して進める防災「チーム龍峯」へ

八代	●活動名		●関係する学校名						
	防災に強い学校づくりから「チーム龍峯」へ		八代市立龍峯小学校						
活動区分	学びによるまちづくりや地域課題解決型学習	地域人材育成	郷土学習						
	地域行事への参加・参画	ボランティア・体験活動	学校周辺環境整備	外部人材を活用した教育プログラム					
統括的な地域学校協働活動推進員等の数	配置人数	地域学校協働活動推進員等の数	配置人数	学校運営協議会	有	無	企業・NPO等との連携	有	無
	0人		0人						

## ● 活動の概要・特徴や工夫

龍峯小の防災への取組は平成29年度からスタートした。防災で一番大切なのは「自分事」。学校から、職員、児童、保護者、地域といろんな場面で防災について考える機会を作り、防災の仲間、防災「チーム龍峯」を広げている。この地域の誰もが「一つの命」を持つ当事者としての防災への意識を高めている。龍峯校区の自然災害のリスク対応には、専門家の知恵をいただいている。八代の気象予報士に避難訓練のプロデュースを依頼し、龍峯のリスクにより対応した訓練ができた。平成30年度に龍峯校区自主防災組織を立ち上げ、いざというときに地域はどう動くか、地域の防災体制との連携も進めている。地域にある各団体の動きを確認し、防災への動きを進めてきた。学校を中心に取り組んだ防災が、家庭の動きとなり、地域の力となっていた。また、防災を軸としてつながった人の輪は「チーム」となり学校を支える大きな力となっている。

## ● 活動の様子



### 気象予報士に学校避難訓練のプロデュースを依頼

土砂災害時の避難訓練について、専門家の皆様のお知恵をいただいた。  
また、大雨時対応タイムライン演習を児童・保護者に実施し、そのことを各家庭に持ち帰り、家族での防災会議を開いてもらった。



### 大雨時、保護者引き渡し訓練

お迎えに来ていただいた保護者に、気象庁の警報とリンクして、学校の対応（引き渡し）を進めることを伝えた。



### 防災「チーム龍峯」作戦会議

地域の各団体の方々と防災の動きについて話し合っている。

### 地域との連携:スムーズな避難所運営について 龍峯小避難所開設の様子7月3日



避難所開設にあたり、学校が準備すること  
避難所開設時に見えた課題を地域に報告。  
「レッツゴー避難所大作戦」を提案。

## ● 地域学校協働活動における効果・成果

(子供) 教師・専門家・保護者・地域の皆さんと関わる中で、この龍峯地区を自然災害の視点で理解し、訓練することで「自分の命は自分で守る姿」が育ってきた。しかし、児童は、非常事態の際、保護者や地域の皆さんの理解なくしては自分の安全は守れない。身近な大人がどうするかにかかっている。学校は、PTA研修等を実施し、保護者の防災意識向上に向けた取組を進めていった。またその研修後に、各家庭で家族会議の実施をお願いをし、災害時の対策を各家庭で考える機会をつくっていった。  
(地域) 児童は、将来の龍峯地区住民となる。20年、30年後の地域防災にも確実に生かされる取組である。自治会長さんは「学校がこれだけ防災に頑張っているので、地域も一緒に頑張ろう！どうすればいいか教えてほしい。」と話され、学校が核となつての防災対応が進められている。  
(学校(教職員)) 「防災は自分事」という基本的姿勢を示した。まず、教職員の防災意識を高め、次に児童の「自分の命は自分で守る」教育を進めていった。また、避難所開設にあたっての研修も行い、学校と地域とが連携した避難所開設に向け、理解を深めていった。災害時に児童の命を守る動きから、家庭での防災対策、地域の防災体制へと仲間を広げ、災害時にそれぞれが協力して取り組む動きが見えてきた。また、児童は龍峯校区の自然災害という課題に向き合い、大人と協働することで「自分の命・大切な人の命を守る」ことについて考える貴重な経験を重ねている。